

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表	2020年3月31日	事業所名	ベストサポート株式会社 重症心身障がいサポートセンターひばり
----	------------	------	--------------------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		重症心身障がい児、医療的ケア児対象のため個性が高く、児童指導員、機能訓練士を加配。常に看護師2名を常駐している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けアンケートについてはわかりやすいものにし、長期休み前や年度末の2回実施を目標とした
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価を導入し質の向上に努めたい
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		新任研修、現任研修、業務改善発表、事例検討発表のほか、動画チャンネルなどで研修資料を社内でも共有している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			KIDS 遠城寺式 障害特性シートなど必要に応じて用いているが常にすべての児童に適用するよう努めたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月2回のクラス会議を実施	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月案、週案など計画を立て個別プログラム・集団活動、季節行事を計画している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇については家庭との連携を強化し学習や日常生活支援について具体的な努力目標を児童とともに立てることを目標とした
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		月案、週案など計画を立て個別プログラム・集団活動、季節行事を計画している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティング 療育ノートなどを活用している。担当者や業務分担は見える化している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			送迎や記録、清掃等の業務でスタッフがそろいにくい状況がある。日中にスタッフ個人個人が気付きを記載しておくなどして短時間でも的確な振り返りをしたい
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		タブレット端末によるタイムリーな記録ができています		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		多職種がかかわっているため、子供の利用目的に応じ専門職の参加を促している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		必要に応じ受診やケア会議に参加するため病院訪問をしている。関係職員と直接連絡を取るなどしている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じ保育園訪問や保健師、訪問看護師などの情報提供をいただいている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		長期休みなどに近隣の学童などと交流できるよう計画したい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		在宅医療ケア部会へ参加しサポートファイルの作成や普及につとめている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングについての研修を深め実施できるよう努力していきたい	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情は社内で共有し管理者へ報告して対応するように指導している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		年2回の祭事、運動会などを催し地域住民にも参加していただけるよう広報している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		医ケア児用に自家発電機も備え、避難、操作訓練を年2回実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在まで身体拘束に至ったケースはない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーについては医師の診断を受けた家族からの情報収集により除去食を提供している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。